

人口動態調査事務システム標準化検討会資料（第 1 回）

2026年 8 月 5 日

目次

• 背景と目的	P. 3
• 今年度の検討事項	P. 4
• 経過措置に係る対応	P. 5
• 事務局の判断により改定が必要と判断した事項	P. 8
• 今後のスケジュール	P.14

背景と目的

令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」等において地方自治体行政の様々な分野で、業務プロセスやシステムの標準化等による業務効率化を進めることとされたことを受け、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）（以下「標準化法」という。）が定められ、**令和5年3月29日に「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第2条第1項に規定する標準化対象事務を定める政令（令和4年政令第1号）」の一部改正により、人口動態調査事務も標準化対象事務に追加された。**

このため、人口動態調査事務において市区町村で導入されている**人口動態調査事務システムは、標準化法第8条第1項に基づき、標準化法第5条第2項第4号に規定する標準化基準に適合した標準準拠システムへと移行しなければならない**こととなった。

以上の経緯を踏まえ、令和5年8月に標準仕様書【第1.0版】を策定し、令和7年1月、令和7年8月にそれぞれ改定版となる標準仕様書【第2.0版】及び標準仕様書【第3.0版】を公表した。

令和8年度においては、**政府方針や制度改正の動向、戸籍などの関連業務分野の検討状況やシステムの変更に伴い、標準仕様書改定の要否にかかる影響**について調査・研究を進めていく。あわせて、標準準拠システムへの移行後の運用開始に伴い、疑義等への対応が発生することが想定されるため、**地方自治体事務等の実態調査を更に進めつつ、新たに標準仕様書に規定すべき要件や規定要件の見直し等を行う**必要がある。

今年度の検討事項

- 今年度は以下の項目について検討を行う。主な検討事項は、経過措置対象機能等の見直しとなる。

No.	カテゴリ	改定項目	対象ドキュメント
1	経過措置に係る対応	経過措置対象機能等の見直し	• （別紙2-1）機能・帳票要件
2	事務局で標準仕様書の改定が必要と判断した事項	誤記の修正	• （別紙2-1）機能・帳票要件



経過措置に係る対応

経過措置に係る対応

現状

- デジタル庁から示された「一部機能経過措置の対象機能等の標準化基準上の取扱いに係る検討方針について」において、経過措置の対象機能のうち、未実装機能については、令和8年度中に制度所管省庁において、実装類型等の見直しを行い、令和9年1月末の標準仕様書の改定に反映することとされている。
- また、実装類型等の見直し有無に関わらず、全国意見照会を行い、その結果を踏まえた方針を検討会に諮って、標準仕様書へ反映することが求められている。

方針

- 経過措置の対象機能について、実装類型等の見直しを行う。
- 「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に示されている共通機能（EUC機能等）は見直しの対象外とする。

対象機能

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| • 機能ID : 0380001 | • 機能ID : 0380049 | • 機能ID : 0380299 |
| • 機能ID : 0380002 | • 機能ID : 0380268 | • 機能ID : 0380301 |
| • 機能ID : 0380036 | • 機能ID : 0380272 | • 機能ID : 0380308 |
| • 機能ID : 0380041 | • 機能ID : 0380280 | • 機能ID : 0380309 |
| • 機能ID : 0380045 | • 機能ID : 0380294 | • 機能ID : 0380310 |
| • 機能ID : 0380046 | • 機能ID : 0380297 | • 機能ID : 0380311 |
| • 機能ID : 0380048 | • 機能ID : 0380298 | • 機能ID : 0380312 |

※詳細は（別紙2-1）機能・帳票要件をご参照ください。

App) 一部機能経過措置の対象機能等の標準化基準上の取扱いに係る検討方針について（抜粋）

基本的な方針

- 「未実装機能」については、「実装必須機能」として要件を維持する必要があるかの検討を行い、その必要性が認められない場合には、「標準オプション機能」へ要件を変更※する（帳票も同様）。
※実装不可機能への変更や単に機能要件を削除することは、期限内に機能を実装した事業者に不利益となることから行わない
- 「残置機能」については、「実装不可機能」（ホワイトリスト方式により実装が認められないものを含む。）として要件を維持する必要があるかの検討を行い、その必要性が認められない場合には「標準オプション機能」として要件を追加※する（帳票も同様）。
※実装必須機能を追加することは、実装していない事業者に新規開発の負担が生じることから行わない
- 「実装必須機能（帳票）」として要件を維持する場合も「標準オプション機能（帳票）」へ要件を変更する場合も、全地方公共団体に対する意見照会を行い、その結果を踏まえた方針を検討会に諮って、標準仕様書へ反映する。

改定作業について

- 一部機能経過措置の対象機能等の見直しに係る改定対応については、原則、令和8年度中に検討し、令和9年1月末の標準仕様書の改定に反映すること。また、一部又は全部を令和8年8月末の標準仕様書の改定に前倒すことも差し支えない。



事務局の判断により改定が必要と判断した事項

誤記の修正

現状

- 標準仕様書【第3.0版】（別紙2-1）機能・帳票要件において、誤記となる箇所がある。

方針

- 該当箇所を修正する。

仕様書案

上記方針にあわせて、標準仕様書の（別紙2-1）機能・帳票要件を改定する。
詳細はAppendixを参照。

App) 標準仕様書改定案 (別紙2-1) 機能・帳票要件

- 機能ID : 0380081の「機能要件」の誤記を修正する。

■変更前

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

機能・帳票要件【第3.0版】							（自治体規模ごとの実装類型） ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能				要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日	
大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村				
01調査票														
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.29 出生票単体チェック機能（他の子の事件簿番号・種別）	他の子の事件簿番号・種別		0380081	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 選択可能な数字でない場合、とメッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	（参考）「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」（M90019）	令和8年4月1日	

■変更後

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

機能・帳票要件【第3.1版】							(自治体規模ごとの実装類型) ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能				要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日	
大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件		都道府県	指定都市	中核市				一般市区町村
01調査票														
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.29 出生票単体チェック機能(他の子の事件簿番号・種別)	他の子の事件簿番号・種別		0380081	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。				◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

App) 標準仕様書改定案 (別紙2-1) 機能・帳票要件

- 機能ID : 0380130の「小項目」を修正する。

■変更前

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01調査票													
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.78 死産票単体チェック機能	父の国籍、母の国籍		0380130	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」K30073、K30093 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

■変更後

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01調査票													
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.78 死産票単体チェック機能(父、母の国籍)	父の国籍、母の国籍		0380130	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」K30073、K30093 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

App) 標準仕様書改定案 (別紙2-1) 機能・帳票要件

- 機能ID : 0380239、0380240の「小項目」、「機能名称」の誤記を修正する。

■変更前 人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

				改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
(自治体規模ごとの実装類型) ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能													
01調査票	01調査票	1.1.187 死産票関連チェック機能(死産児の体重と体重不詳の関係)	死産児の体重と体重不詳の関係		0380239	死産児の身長がスペースのとき、身長不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 身長不詳=1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30123 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	(参考)「身長欄、身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00159)	令和8年4月1日
01調査票	1.1.188 死産票関連チェック機能(死産児の体重と体重不詳の関係)	死産児の体重と体重不詳の関係			0380240	身長不詳=1(不詳)のとき、死産児の身長はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30133 「4-2画面メッセージ」M00169	(参考)「身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」(M00169)	令和8年4月1日

■変更後 人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

				改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
(自治体規模ごとの実装類型) ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能													
01調査票	01調査票	1.1.187 死産票関連チェック機能(死産児の身長と身長不詳の関係)	死産児の身長と身長不詳の関係		0380239	死産児の身長がスペースのとき、身長不詳=1(不詳)であることを確認できること。 ※1 身長不詳=1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30123 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	(参考)「身長欄、身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00159)	令和8年4月1日
01調査票	1.1.188 死産票関連チェック機能(死産児の身長と身長不詳の関係)	死産児の身長と身長不詳の関係			0380240	身長不詳=1(不詳)のとき、死産児の身長はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」JL30133 「4-2画面メッセージ」M00169	(参考)「身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」(M00169)	令和8年4月1日

App) 標準仕様書改定案 (別紙2-1) 機能・帳票要件

- 機能ID : 0380276の「機能要件」の誤記を修正する。

■変更前

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

機能・帳票要件【第3.0版】							〈自治体規模ごとの実装類型〉 ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能							
大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日	
01調査票														
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.1 電子媒体出力	電子媒体出力		0380276	調査票の電子媒体出力ができること。 ※1 出力範囲を指定しての出力が可能。 ※3 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用。 ※4 出力前に電子媒体を初期化すること。			◎	◎			令和8年4月1日	

■変更後

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

機能・帳票要件【第3.1版】							(自治体規模ごとの実装類型) ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能						
大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01調査票													
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.1 電子媒体出力	電子媒体出力		0380276	調査票の電子媒体出力ができること。 ※1 出力範囲を指定しての出力が可能 ※2 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用。 ※3 出力前に電子媒体を初期化すること。			◎	◎			令和8年4月1日



今後のスケジュール

今後のスケジュール

- 今後のスケジュールは下記のとおり。第1回検討会以降に対象ベンダーに対して状況確認を行い、方針検討に着手する。

作業者	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会	第1回（8/5） ▽			第2回（日付未定） ▽	第3回（日付未定） ▽			
自治体（全国）					全国意見照会 アンケート回答			
事務局	経過措置に関する対応			標準仕様書改定案作成 改定案修正	意見反映 標準仕様書案作成	意見反映 標準仕様書作成	標準仕様書公表（1/29） ▽	
	アンケート作成			アンケート発出 ▽		アンケート集計	アンケート回答	意見の精査・改定要否の検討
開発事業者（5ベンダー）	確認 経過措置対応状況の回答			確認	アンケート回答	確認		
自治体（8自治体）	確認			確認		確認		